

救急患者受入コーディネータ確保事業(新規)

20年度予算案

695百万円

救急隊による受入医療機関の選定に相当の時間を要するなどの事例について、地域の事情に精通した救急医を医療機関に配置するなどして、関係医療機関との調整等を実施する。

- (対象か所数) 47か所
- (補助先) 都道府県(委託を含む)
- (補助率) 1/2(負担割合:国1/2、都道府県1/2)
1回あたり:③36,040×(365日(夜間)×2回+91日(休日))
- (積算単価) 29,589千円/1か所
- (対象経費) コーディネータ医師等確保経費
- (創設年度) 平成20年度

救急救命士病院実習受入促進経費

20年度予算案 (19年度予算額)

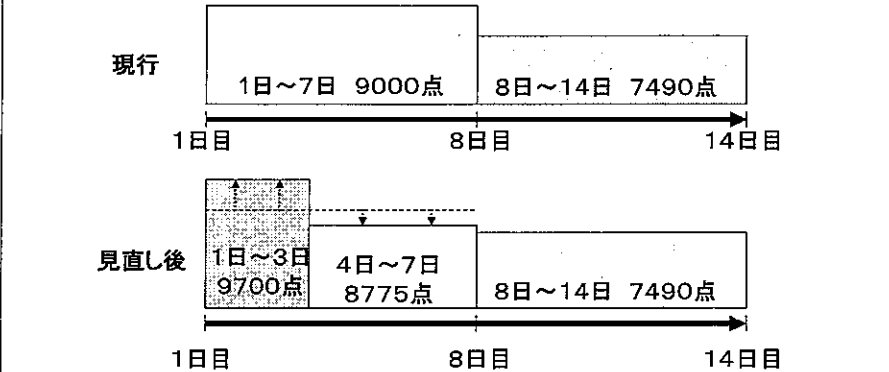
89百万円 (54百万円)

救急救命士の資質の向上を図るため、救急救命士を受け入れて実習を行う病院に対して必要な経費を補助する。

- (対象か所数) 130か所
- (補助先) 都道府県(間接補助先:市町村、その他厚生労働大臣の認める者)
- (補助率) 1/2(負担割合:国1/2、都道府県1/2)
- (積算単価) 1,369千円/1か所
- (対象経費) 実習受入の調整を行うコーディネーター
医等及び指導医経費
- (創設年度) 平成15年度

救命救急入院料の見直し

- 趣旨
救命救急センターでの入院医療について、入院早期を手厚く評価する。
- 期待される効果
新規入院患者の受入増加により、救急患者の受入が円滑となる。



※ 中央社会保険医療協議会資料を基に医政局指導課で作成したもの。(平成20年2月21日)

第二次救急医療機関における勤務医負担の軽減

地域の中核病院の勤務医負担の軽減

- 地域の急性期医療を担っている病院で、勤務医負担軽減策が具体的に計画されている場合を評価
 - ①外来縮小計画 ②外部の医療機関との診療分担の推進
 - ③院内の職種間の業務分担の推進 ④当直明けの勤務の軽減 等
- 入院時医学管理加算 60点→120点(14日まで)

病院勤務医の事務負担の軽減

- 地域の急性期医療を担っている病院で、医師の事務作業を補助する職員を配置している等、病院勤務医の事務作業負担を軽減する体制を評価
 - (新) 医師事務作業補助体制加算 (入院初日)
- 一般病床数に対する医師事務作業補助員の配置割合によって評価
- | 配置割合 | 25対1* | 50対1 | 75対1 | 100対1 |
|------|-------|------|------|-------|
| 加算額 | 355点 | 185点 | 130点 | 105点 |
- ※高度な救急医療を担う医療機関のみ

※ 保険局医療課資料を抜粋

初期救急医療機関における時間外患者への対応

病院の時間外救急負担の軽減

- 病院の軽症の時間外救急患者を、診療所で受けとめる体制を推進するため、診療所での夜間・早朝等の診療を新たに評価
 - 平日 : 6～8時、18～22時
 - 土曜 : 6～8時、12～22時
 - 日祝日 : 6～22時 (新) 初・再診料 夜間・早朝等加算 50点

医師負担が大きい技術の再評価

- 既存の手術の技術料を、医師の負担を踏まえて適正に評価
(手術72項目について平均約3割引上げ)
- 感染症患者の手術における加算の引上げ
- 帝王切開術における麻酔管理の加算を創設
- 先天性心疾患等の患者の高度な全身麻酔を評価
- 穿刺技術の評価の引上げ(上顎洞穿刺等の再評価) 等

※ 保険局医療課資料を抜粋

救急搬送診療料の見直し

- 患者を救急用の自動車等(ドクターヘリも含む)で保険医療機関に搬送する際、診療上の必要から、当該自動車等に同乗して診療を行った場合に算定する。

650点 → 1300点

※ 中央社会保険医療協議会資料を基に医政局指導課で作成したもの。(平成20年2月21日)

脳卒中対策

超急性期から回復期にわたる脳卒中医療の総合的評価

- 超急性期の治療(t-PAによる治療)の評価
 (新) 超急性期脳卒中加算 12,000点
- 急性期後の入院医療を行った場合の評価
 (新) 亜急性期入院医療管理料2 2,050点
- 地域連携診療計画(地域連携クリティカルパス)の対象
 疾患に脳卒中を追加
 地域連携診療計画管理料 900点
 地域連携診療計画退院時指導料 600点
- 回復期リハビリテーション病棟の、居宅等への復帰率や、
 重症患者の受入割合といった、質に着目した評価

回復期リハビリテーション病棟入院料1	1,690点
重症者回復病棟加算	50点
回復期リハビリテーション病棟入院料2	1,595点



※ 保険局医療課資料を抜粋

精神科対応

- 自殺未遂者等への
 救命救急センターにおける精神医療の評価
 (新設) 救命救急入院料に、精神保健指定医による診療の加算
 3000点

※ 中央社会保険医療協議会資料を基に医政局指導
 課で作成したもの。(平成20年2月21日)

産科医療

周産期医療を担う地域のネットワークの支援

- 救急搬送とされた妊産婦の受入れを評価

⑨ 妊産婦緊急搬送入院加算 5,000点(入院初日)

- ハイリスク妊産婦の治療に当たる医療機関の連携を評価

ハイリスク妊産婦共同管理料 対象拡大(I 500点/II 350点)

ハイリスク妊産婦管理の充実・拡大

- ハイリスク妊婦の入院管理を評価

⑨ ハイリスク妊娠管理加算 1,000点(1日につき)

- ハイリスク妊産婦の分娩管理の評価の充実

ハイリスク分娩管理加算 1,000点 → 2,000点(1日につき)、対象拡大

- ハイリスク妊婦の検査の充実

ノンストレステスト 対象拡大、入院中 1週間につき1回 → 3回

外来 1月につき1回 → 1週間につき1回

※ 保険局医療課資料を抜粋

小児医療

小児の入院医療の充実

- 高度な小児医療を提供する医療機関・子ども専門病院の評価

⑨ 小児入院医療管理料 1(区分新設) 4,500点

- 障害を持つ乳幼児の入院医療の評価

超重症児(者)入院診療加算 300点 → 6歳未満 600点

準超重症児(者)入院診療加算 100点 → 6歳未満 200点

小児の外来医療の評価の充実

- 病院・診療所の小児科医師の連携による救急医療体制の評価

地域連携小児夜間・休日診療料1 300点 → 350点

地域連携小児夜間・休日診療料2 450点 → 500点

- 乳幼児の外来医療の評価

小児科外来診療料 処方せんを交付する場合 初診時 550点 → 560点 等

※ 保険局医療課資料を抜粋

救急医療体制の現状

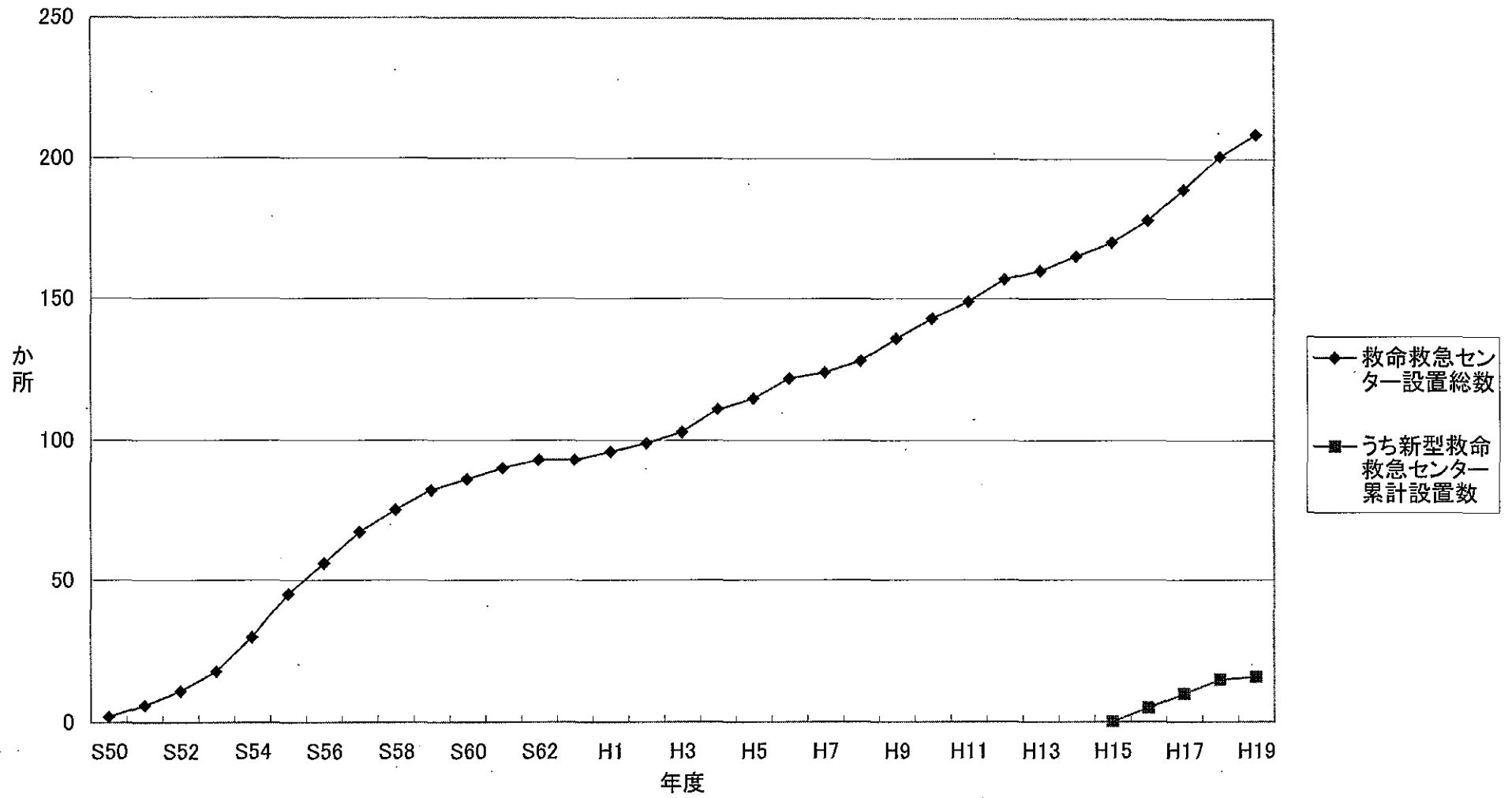
第三次救急医療機関の数の推移

第二次及び第三次救急医療機関数の推移（平成10年～19年）

都道府県	第二次救急医療機関数										第三次救急医療機関数									
	10'	11'	12'	13'	14'	15'	16'	17'	18'	19'	10'	11'	12'	13'	14'	15'	16'	17'	18'	19'
北海道	112	114	113	106	127	117	113	127	127	127	6	6	7	7	8	8	9	10	10	10
青森	24	26	26	25	24	24	24	24	21	21	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
岩手	41	40	39	40	43	40	40	41	41	43	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3
宮城	47	47	49	50	57	52	50	41	41	39	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4
秋田	12	12	12	13	15	13	16	20	20	20	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
山形	7	7	7	7	7	6	7	7	7	7	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2
福島	68	71	70	69	68	68	68	68	68	58	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
茨城	32	42	49	49	50	51	50	49	50	50	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4
栃木	26	26	25	26	26	27	27	27	29	28	2	3	3	3	5	5	5	5	5	5
群馬	67	67	68	66	68	64	63	62	62	62	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
埼玉	140	140	140	142	142	154	157	149	140	135	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6
千葉	160	180	174	168	161	160	151	151	151	147	7	7	8	8	8	8	8	8	9	9
東京	429	419	278	272	275	273	276	278	276	266	16	16	20	21	21	21	21	21	21	21
神奈川	210	205	198	192	187	184	177	171	171	171	7	7	7	7	7	7	7	7	8	11
新潟	68	70	68	68	67	65	65	67	66	64	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4
富山	18	17	19	19	19	19	19	20	20	20	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
石川	12	11	12	11	11	11	11	11	11	11	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2
福井	6	6	6	6	9	9	9	9	9	9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
山梨	38	35	35	35	36	34	34	34	34	33	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
長野	53	51	51	53	54	54	54	54	53	51	3	3	3	3	3	3	3	3	5	7
岐阜	45	45	45	45	45	45	45	44	44	40	4	4	4	5	5	5	6	6	6	6
静岡	80	77	79	73	72	68	64	63	63	62	4	4	4	4	5	5	6	6	6	6
愛知	121	120	121	118	118	115	116	115	115	113	8	8	8	8	9	11	12	12	12	12
三重	36	36	37	36	36	36	32	33	33	33	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
滋賀	23	23	23	23	23	24	24	24	23	23	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4
京都	94	97	95	92	93	91	91	90	89	87	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3
大阪	109	108	110	254	261	257	255	273	271	265	8	9	9	10	10	10	10	10	10	10
兵庫	197	196	195	194	187	184	184	174	180	171	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5
奈良	46	47	47	47	45	47	47	45	45	45	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3
和歌山	40	43	43	43	43	43	43	43	42	41	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3
鳥取	19	19	19	21	20	21	21	21	21	19	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2
島根	16	17	19	19	20	19	19	19	19	19	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3
岡山	25	26	26	25	25	25	25	25	24	24	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3
広島	60	63	60	61	63	61	64	65	63	63	3	3	3	3	3	3	3	3	5	5
山口	45	45	45	45	44	43	43	43	42	42	2	2	3	3	3	3	3	3	4	4
徳島	31	30	25	25	25	25	25	23	22	22	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3
香川	17	17	17	17	15	17	17	17	17	17	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
愛媛	49	47	47	46	47	49	49	48	46	45	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
高知	31	30	33	33	32	32	32	31	31	34	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2
福岡	337	318	318	313	311	307	308	299	299	299	6	6	6	6	6	6	6	6	6	8
佐賀	87	79	72	68	61	61	60	57	56	58	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
長崎	41	40	40	40	40	41	41	42	42	42	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
熊本	42	42	42	43	43	43	43	43	43	42	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2
大分	26	27	27	34	34	37	38	37	38	38	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
宮崎	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
鹿児島	140	136	133	130	122	123	123	121	114	112	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
沖縄	7	7	7	7	8	22	23	23	25	25	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3
計	3,344	3,331	3,174	3,279	3,289	3,271	3,253	3,238	3,214	3,153	136	142	151	158	165	170	176	178	189	201

※各年とも3月31日現在の数値を計上

救命救急センター累計設置数



救命救急センターの整備(平成14年度→平成18年度)

	平成14年度 ¹⁾	平成18年度 ²⁾
施設数	165	201 ↑
総病床数	5,668	6,390 ↑
1施設当たりの病床数	34.35	31.79 ↓
1施設当たりの医師数 (専任)	8.16	8.55 ↑
1施設当たりの医師数 (兼任)	28.38	33.34 ↑

1) 平成15年3月31日現在

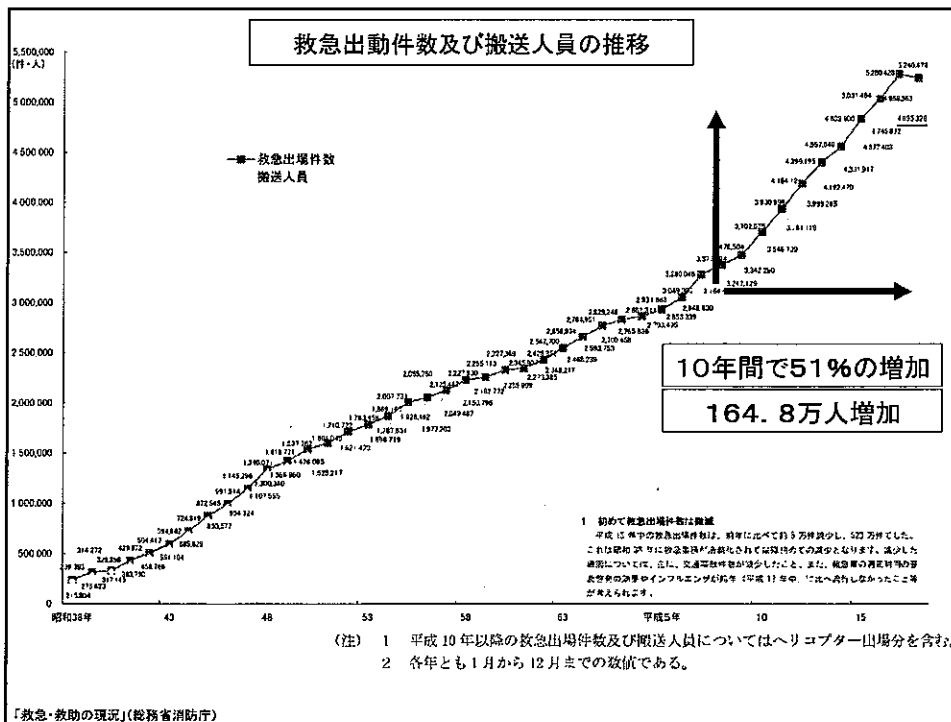
2) 平成18年12月1日現在

救急搬送の動向

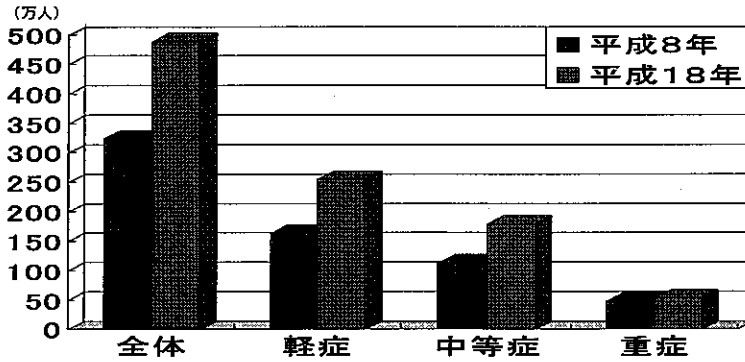
救急搬送の現状

- 年間救急搬送人員数 4,895,328人
- 人口1万人あたり(全国) 383件数(出動件数)
 - ・ 大阪府 565.6件
 - ・ 福井県 285.5件
- 一日あたり搬送人員数 13,411人
 - ・ 東京都 1,738人
 - ・ 鳥取県 57人
 - ・ 平均(単純に47で割り算したもの) 285人

「救急・救助の現況」(総務省消防庁)



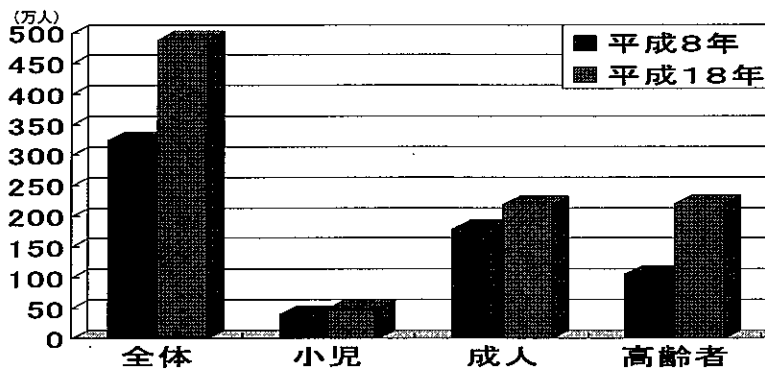
10年間の救急搬送人員の変化(重症度別)



	全体	軽症	中等症	重症 (死亡も含む)
平成8年	324.7万人	162.8万人	113.4万人	48万人
↓	164.8万人増 (+51%)	91.8万人増 (+56%)	66.5万人増 (+59%)	6.1万人増 (+13%)
平成18年	489.5万人	254.6万人	179.9万人	54.1万人

「救急・救助の現況」(総務省消防庁)のデータを基に分析したもの

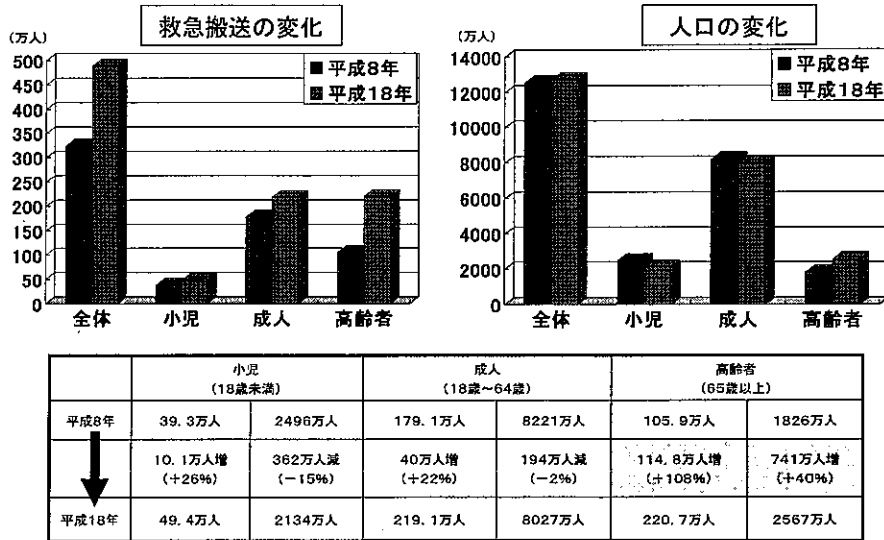
10年間の救急搬送人員の変化(年齢別)



	全体	小児 (18歳未満)	成人 (18歳~64歳)	高齢者 (65歳以上)
平成8年	324.7万人	39.3万人	179.1万人	105.9万人
↓	164.8万人増 (+51%)	10.1万人増 (+26%)	40万人増 (+22%)	114.8万人増 (+108%)
平成18年	489.5万人	49.4万人	219.1万人	220.7万人

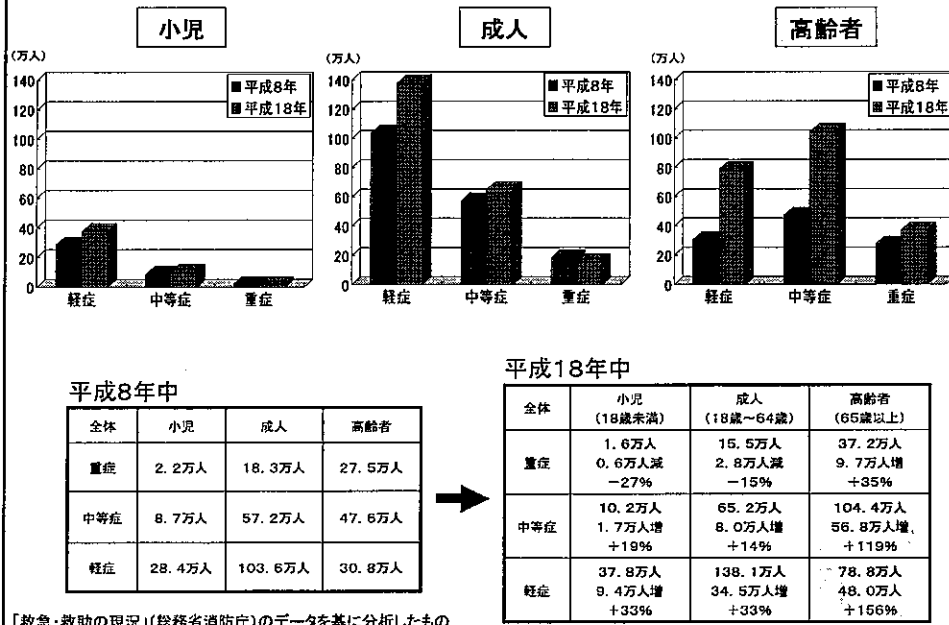
「救急・救助の現況」(総務省消防庁)のデータを基に分析したもの

10年間の救急搬送人員の変化 (年齢別の人口との比較)



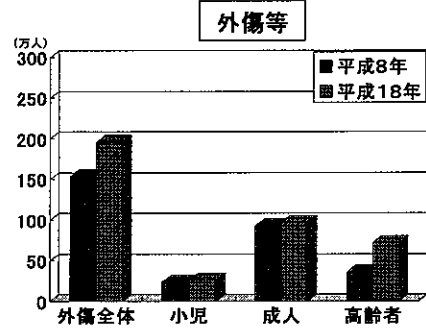
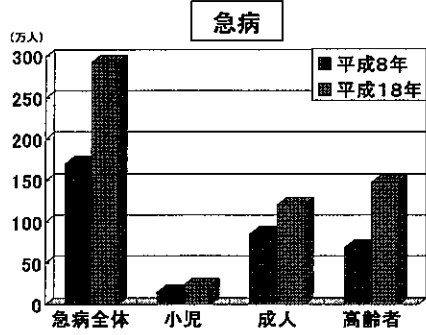
「救急・救助の現況」(総務省消防庁)のデータを基に分析したもの

10年間の救急搬送人員の変化(年齢・重症度別)



「救急・救助の現況」(総務省消防庁)のデータを基に分析したもの

10年間の救急搬送人員の変化(年齢・病傷別)



平成8年中

	全体	小児	成人	高齢者
急病	171.2万人	15.1万人	86.1万人	70.0万人
外傷等	153.5万人	24.3万人	93.2万人	35.9万人

平成18年中

	全体	小児 (18歳未満)	成人 (18歳～64歳)	高齢者 (65歳以上)
急病	293.0万人 121.8万人増 +71%	23.0万人 7.9万人増 +52%	121.6万人 35.5万人増 +41%	148.5万人 78.5万人増 +12%
外傷等	296.2万人 42.7万人増 +28%	26.4万人 2.1万人増 +9%	97.6万人 4.4万人増 +5%	72.2万人 36.3万人増 +101%

「救急・救助の現況」(総務省消防庁)のデータを基に分析したもの

第三次救急医療機関における
医師の勤務実態

救命救急センターで勤務する医師の勤務実態

平成19年9月14日
医政局指導課まとめ

○ 調査の概要

全国の全救命救急センター（202ヶ所）あてにアンケート調査を郵送し、その回答を集計したもの。

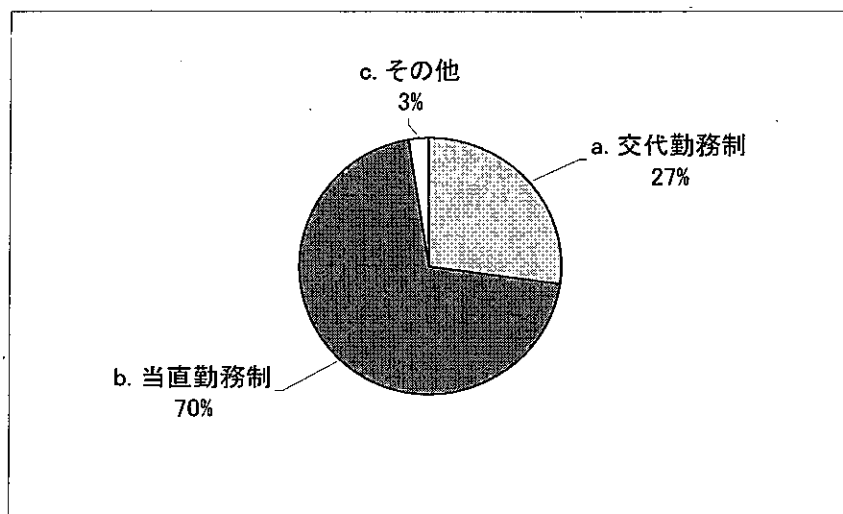
平成19年度 厚生労働科学研究補助金事業において実施されている。

（主任研究者：山本保博 「メディカルコントロール体制の充実強化に関する研究」）

○ 調査結果

アンケート回収率 56%（116/202）

（1）夜間の勤務体制



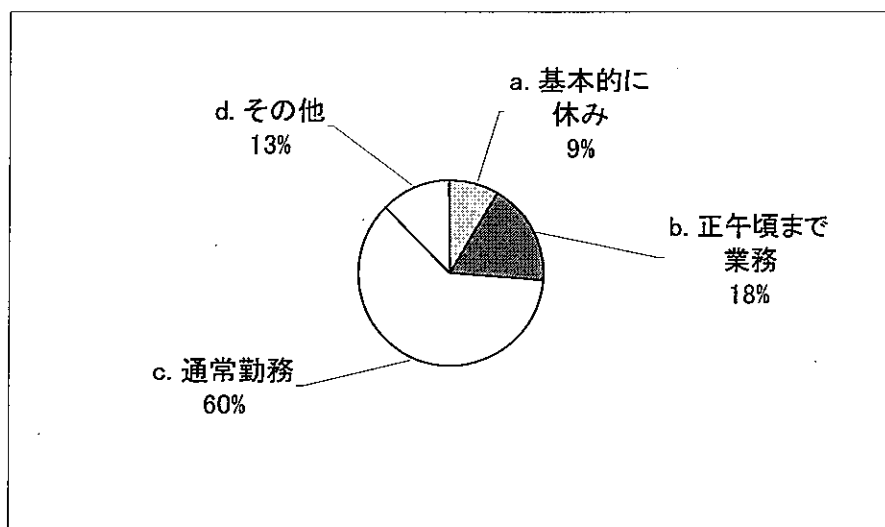
夜間の勤務体制

	回答数	回答率
a. 交代勤務制	31	27.2%
b. 当直勤務制	80	70.2%
c. その他	3	2.6%
計	114	100%

その他の内容

- ・準夜帯は時間内、深夜帯は当直扱い
- ・ドクターカー当直と変則ナイトシフト
- ・管理業務（入退出の許可）のみ

（2）当直後の日勤時間帯（平日）の勤務状況



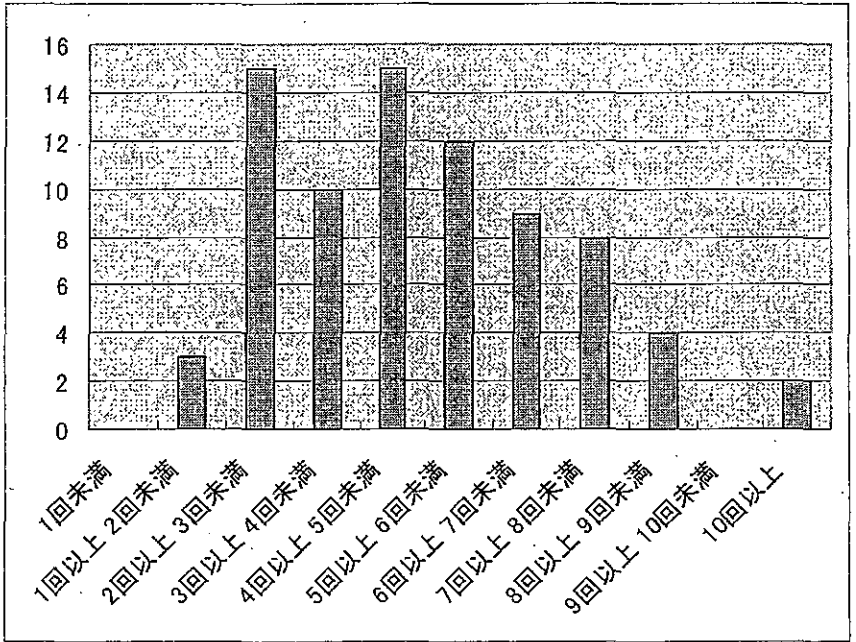
当直後の日勤時間帯（平日）の勤務状況の実態

	回答数	回答率
a. 基本的に休み	7	8.8%
b. 正午頃まで業務	14	17.5%
c. 通常勤務	49	61.3%
d. その他	10	12.5%
計	80	100%

(3) 施設の平均当直・日直回数 (1ヶ月あたり)

平均回数 4.6回/月 (最大 13.5回、最小 1.5回)

	回答数	回答率
1回未満	0	0.0%
1回以上 2回未満	3	3.8%
2回以上 3回未満	15	19.2%
3回以上 4回未満	10	12.8%
4回以上 5回未満	15	19.2%
5回以上 6回未満	12	15.4%
6回以上 7回未満	9	11.5%
7回以上 8回未満	8	10.3%
8回以上 9回未満	4	5.1%
9回以上 10回未満	0	0.0%
10回以上	2	2.6%
計	78	100%



(4) 施設の最も当直・日直回数の多い医師の当直・日直回数 (1ヶ月あたり)

平均回数 6.4回/月 (最大 20回、最小 2回)

	回答数	回答率
1回未満	0	0.0%
1回以上 2回未満	0	0.0%
2回以上 3回未満	2	2.6%
3回以上 4回未満	6	7.8%
4回以上 5回未満	11	14.3%
5回以上 6回未満	10	13.0%
6回以上 7回未満	18	23.4%
7回以上 8回未満	10	13.0%
8回以上 9回未満	10	13.0%
9回以上 10回未満	4	5.2%
10回以上	6	7.8%
計	77	100%

